

令和7年9月17日（水）

大阪広域水道企業団 富田林水道センター
電話：0721-24-1200（直通）
E-mail: tondabayashi@sbox.wsa-osaka.jp

非化石価値付電力による水道施設の運用について

当企業団は「経営戦略 2020-2029」において「環境にやさしい水道事業体」をめざす取組みとして、再生可能エネルギーの活用を推進し温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

富田林水道センターでは、これらの取組みの推進と富田林市から引継いだ「カーボンニュートラル推進等に関する基本協定書」に基づき、令和7年8月1日に「非化石価値付きの電力供給事業※における協定書」を締結し、同年11月1日から非化石価値付電力による水道施設の運用を順次開始しますので、お知らせします。

記

- | | | |
|---|---------|--|
| 1 | 電力供給開始日 | 令和7年11月1日（土）から順次開始 |
| 2 | 供給場所 | 富田林水道センター内の水道施設（全32施設） |
| 3 | 概要 | 再生可能エネルギーの有効活用の取組みとして、水道施設への電力需要を非化石価値付電力市場から調達し、カーボンニュートラルの推進を図ります。 |
| 4 | 添付資料 | 資料「富田林水道事業の脱炭素化」 |

※ 非化石価値付き電力：

火力発電などの化石燃料を使用した電力ではなく、再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力等）や原子力等で発電した電力



資料

富田林水道事業すべての水道施設で 脱炭素化を目指します



大阪広域水道企業団

DK-Power

カーボンニュートラルの推進

100%脱炭素化

今回の
取り組み

非化石電力供給事業

富田林水道事業の全32施設へ
非化石電力を供給

令和7年11月から開始

(JEPX (日本電力卸売取引所) より電力調達)

○非化石電力供給事業とは、火力発電などの化石燃料を使用した電力ではなく、再生可能エネルギーなどで発電した電力を、電力会社が供給する事業

年間CO₂削減量※2

375 t 削減

削減効果

一般家庭約217軒分※3の

電気量削減

CO₂
削減

100%売電
(売電還元料として水道事業へ還元)

令和2年度～【FITによる売電】※1
マイクロ水力発電事業



令和3年度～【FITによる売電】※1
マイクロ水力発電事業



日野浄水場

上原減圧水槽

金剛配水池

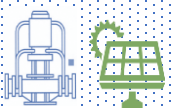
金剛東配水池

各家庭の蛇口へ

滝畑ダム



(建設検討中)
マイクロ水力発電事業
太陽光発電事業
蓄電池運用事業



100%場内消費
(電力の地産地消)



※1 FITとは、再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が、一定期間、一定価格で電力を買い取る制度。
※2 令和6年度 年間電力消費量 858,037kWh×CO₂全国平均係数 (R4年度実績) 0.000438t-CO₂/kWh
※3 令和5年度 家庭部門のCO₂排出実態統計調査【環境省】電気のCO₂排出量 1軒当たり 1.73t/年